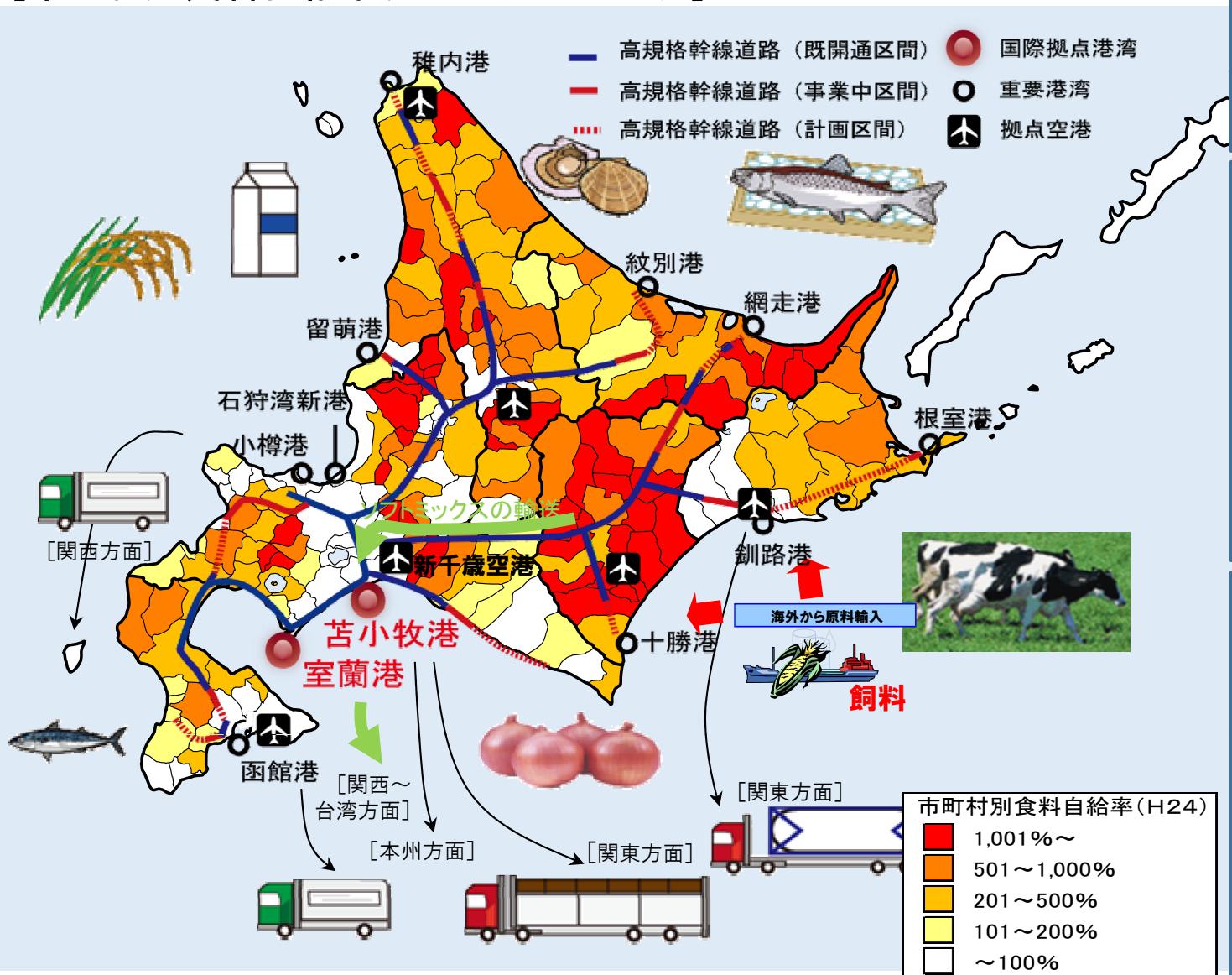


○我が国の食料供給基地である北海道の安定的な食料供給力の確保・向上を図る。

[市町村別食料自給率及びネットワーク]



道東や道北等の食料自給率が高い地域で生産される食料を道央や道外へ、また、道内外で生産される飼肥料を食料生産の場へ、それぞれ効率的に供給するため、道路、港湾・空港等の物流ネットワークを強化する。

○北海道の乳製品を海外へ輸出

- ・北海道横断自動車道(整備中)
- ・苫小牧港西港区複合一貫輸送ターミナル整備事業(整備中)

台湾で販売中のソフトクリーム

帯広北部の工場で管内の生乳からソフトミックスを製造、北海道横断自動車道で苫小牧港へ運ばれ、関西経由で、台湾へ輸出されている。

苫小牧港の更なる整備により、輸送の効率化が期待される。



○飼料工場、乳製品工場の立地

- ・十勝港国際物流ターミナル(岸壁供用済み)
- ・釧路港国際物流ターミナル(整備中)
- ・北海道横断自動車道根室線(整備中)

十勝港国際物流ターミナル

背後に飼料工場、帯広・広尾 釧路港における穀物陸揚状況
自動車道の沿線に乳製品工場が立地。

今後、釧路港国際物流ターミナルの完成、北海道横断自動車道の釧路到達により、飼料のコスト削減が進み、地域の酪農に更に貢献。



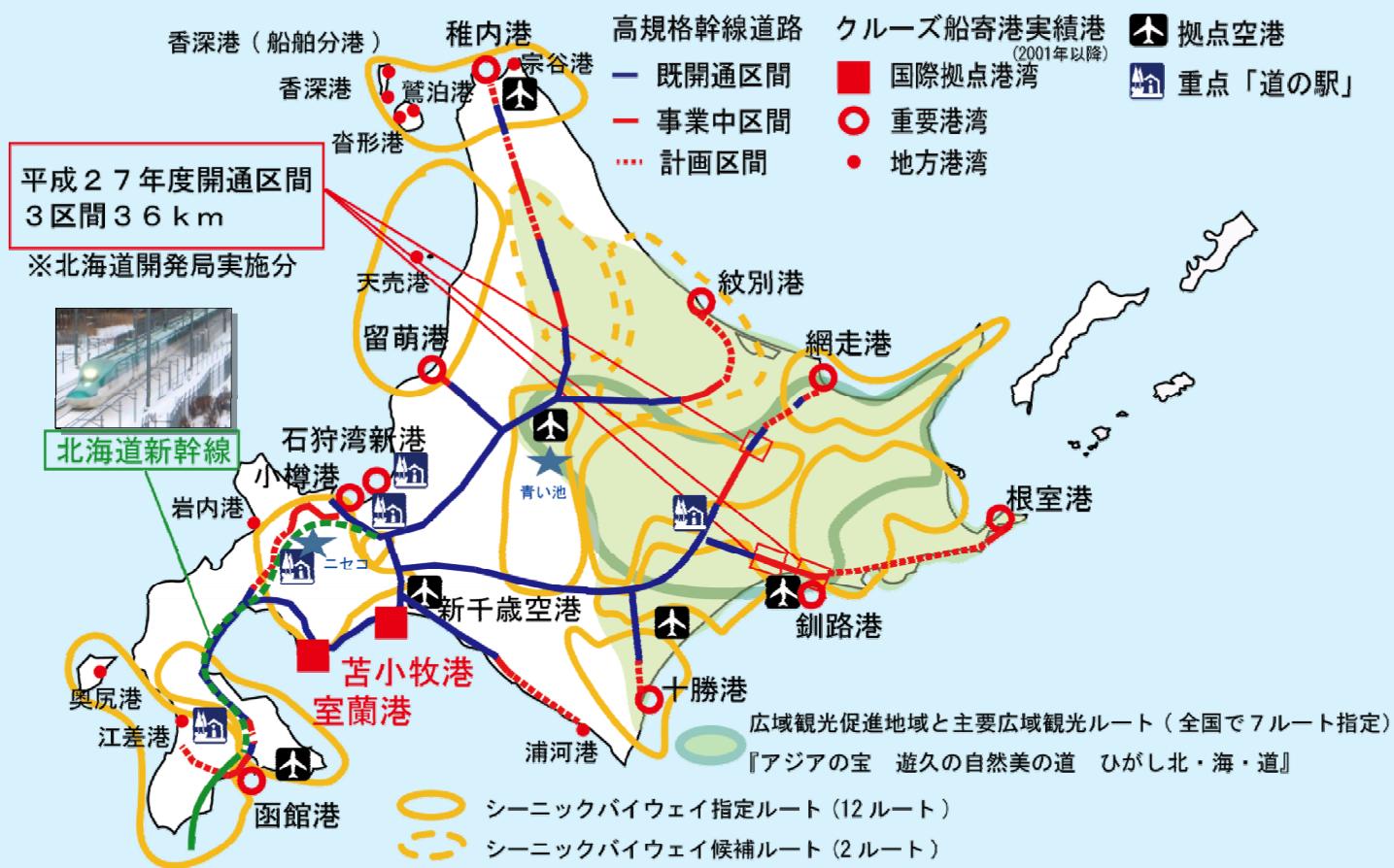
注) 市町村別食料自給率については、北海道開発局開発計画課試算による。なお、これらの食料自給率の算出に必要となる、市町村別の各種農畜水産物の公表データは限定されているため、試算値は概ねの傾向を示す参考値。

世界水準の観光地の形成



国土交通省

○北海道が「世界水準」の観光地として認知され、人々を引きつける地域となるよう様々な取組を戦略的に展開する。



○アクセスの改善による国際的な観光地の魅力向上

- ・ 北海道横断自動車道(整備中) 国際的な観光地
 - ・ 俱知安余市道路(整備中) “ニセコエリア”的スキー場

国際的な観光地への交通アクセスの改善、速達性の向上等により、国際的な魅力の向上、観光立国の推進に貢献



○クルーズ船の寄港促進による観光振興

- ・ みなとオアシスを活用したクルーズ船受入環境の整備

北海道では近年外航クルーズ船寄港隻数が堅調に推移、今後も成長が期待される。クルーズ客に多様なサービスを提供する場としての「みなとオアシス」の活用等により、クルーズ船の受入環境を改善し、成長に貢献する。



○道東観光の活性化

- ・ 北海道横断自動車道(整備中)
札幌・帯広間が高速道路で直結され
所要時間が短縮、都市間バスの利用客
が倍増した。更に釧路管内への延伸に
より入り込客数が大きく増加、観光行動
圏が広域化。
→地域活性化への形成に大寄与



○観光スポットの創出とアクセス支援

- ・ 富良野道路・富良野北道路(整備中)
 - ・ 石狩川総合水系環境整備事業
(美瑛川地区かわまちづくり)

近年、美瑛川の「青い池」が新たな観光スポットとして話題となっている。今後、河川空間をサイクリングロードとして活用するなど、かわとまちが一体となつた取り組みを推進する。



○北海道新幹線

- ・ 新青森・新函館北斗間の開業(平成28年3月)
 - ・ 札幌延伸(平成42年度末)
観光のほかビジネスなど様々な分野での交流により、地域経済活性化に大きく寄与することが期待される。

○重点「道の駅」等の支援

北海道内の「道の駅」は、平成26年には約3,200万人に利用されており、地域全体の観光案内のほか、無料無線LAN、多言語化などインバウンド観光をはじめとする地域振興に寄与。

重点「道の駅」では、地域活性化の拠点となる取組等について、関係機関が連携し重点支援。



○観光スポットの創出とアクセス支援

強靭な国土づくりへの貢献と安全・安心な社会基盤の形成

○頻発する自然災害に備える防災対策の推進

○我が国全体の国土強靭化への貢献



○国家的規模の災害時における後方支援等の バックアップ機能の発揮

- TEC-FORCEの派遣、広域防災フロート等を活用した支援
 - サプライチェーンの強化(関係する官民の連携協力体制の構築、物流関連インフラの耐震化等)、港湾BCPの策定

北海道は、首都圏等の大都市圏で懸念される首都直下地震、南海トラフ地震等の大規模災害において同時に被災する可能性が小さいこと等から、国家的規模の災害時における後方支援等のバックアップ機能を発揮して、我が国全体に貢献する。また、高い食料供給力を活かし、平時はもとより、道内外での大規模災害時等非常時においても、食料流通を途絶させることなく、被災地を始め全国への安定的な食料供給を確保する。

○今後の気候変動等による更なる災害リスクへの対応

- ・ 河川改修事業(千歳川遊水地群、北村遊水地、石狩川水系、沙流川水系、十勝川水系、常呂川水系、天塩川水系他)
 - ・ ダム建設事業(平取ダム、新桂沢ダム・三笠ぽんべつダム、サンルダム)
 - ・ 砂防事業(石狩川水系豊平川、十勝川水系札内川、石狩川上流石狩川)
 - ・ 海岸保全施設整備事業(胆振海岸)
 - ・ 下水道事業都市浸水対策(札幌市、釧路市ほか)
 - ・ 防雪対策の推進(紋別防雪、根室防雪ほか) _____

施設整備を計画的に進めるとともに、施設能力を上回る降雨等に対しては、最大クラスの大雨等が発生した場合を想定した浸水想定、ハザードマップの作成・公表、連絡協議会や防災訓練の実施など、ハード・ソフトが一体となった対策を推進する。



東の里遊水地(平成27年7月撮影)

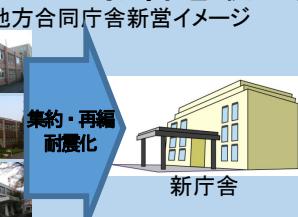
○大規模地震・津波や火山噴火等の大規模自然災害リスクから、人命を守り経済社会的影響を最小限とする

- ・ 河川改修事業(十勝川、釧路川)
 - ・ 耐震強化岸壁の整備(函館港)
 - ・ 緊急輸送道路の橋梁の耐震化(苫小牧市ほか)
 - ・ 火山砂防事業(十勝岳、樽前山)
 - ・ 分散している官署を集約し耐震化する
　　帯広第2合同庁舎新館

日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震の影響が想定される地域において、河川堤防等の嵩上げ・耐震化等を行い、地震による津波から人命を保護するとともに、港湾岸壁、道路橋等の耐震化により、震災時の交通物流ネットワークの維持を図る。

帯広第2地方合同庁舎新嘗イメージ

帶広財務事務所 (昭和39年築) 耐震性能不足	
帶広税務署 (昭和42年築) 耐震性能不足	
帶広開拓建設部 (昭和29年築) 耐震性能不足	



水防拠点と情報掲示板(釧路川)



平成32年度までに完成(一部完成)が予定されている事業

